

<ビジター・ゲスト>

入間市教育長

西澤 泰男 様

★★★会長の時間

粕谷康彦会長

今日は入間市教育長、西澤泰男様をお迎えしております。これからの教育行政について卓話をお願いいたします。大変お忙しい中をご出席していただき有難うございます。



11月はロータリー財団月間である。財団プログラムに対する認識向上と財団寄付の推進に、一層大きな力を傾ける月となります。しかしなぜ11月なのでしょう。これは1956年5月国際ロータリー理事会によって11月15日を含む週が、ロータリー財団月間に定められたことから始まりました。この特別週間は1961年時点で既に定着しており、アフリカ南部の大半のロータリークラブで財団にスポットを当てた取り組みがこの週に実施されていました。世の中には人間の存在を根底から崩すような悲劇的な疾患があります。その中でも子供の命を奪うか、運動性まひと呼吸筋の発育不全が残り、耐え難い不自由な障がい者としての一生を送るか、の二者択一を迫る疾患があります。ポリオです。RI創始80年にあたり記念事業として「ポリオプラス計画」が発表されました。日本国内では募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から5か年計画でポリオプラス募金キャンペーンが始まりました。そして1991年6月には目標を上回る約49億円の寄付が集まりました。

ポリオプラスのプラスについて、1985年RIポリオプラスを開始したとき、プラスという言葉はポリオ撲滅の試みが子供の間で流行する他の5つの伝染病、破傷風、はしか、風疹、ジフテリア、

百日咳の予防接種にも繋がるだろうと考えプラスとされました。その後ポリオ撲滅による恩恵は増え、ワクチンを低温で運搬保存するための新しい物流方法が開発されたり、新たなポリオ発症の発見を目的とする、研究所や診療所の巨大なネットワークにより、他のウイルスの感染状況も監視できるようになりました。2008年には、ポリオ常在国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4か国に減少しました。

2011年インドの野生ポリオ症例がゼロとなり3年間のサーベイランスの結果、2014年3月27日インド及び東南アジアからポリオが撲滅されたことが宣言されました。

なぜロータリーはポリオだったのか。専門家集団ではないロータリーが、ポリオを手掛けたことを懸念する意見も常にありました。しかし完遂に向けて30年間一貫して掲げてきたロータリーの最優先事項は、実はロータリーだから可能だったという検証が、つぎのような理由で成り立つように思われます。

- ①世界中に蔓延する子供に最も悲惨な病気
- ②罹患すると現代医学でも治らない。
- ③最も効率の高い予防手段(ワクチン)が現存する。
- ④2滴を口内に滴下するだけで子供に苦痛がない。
- ⑤安価である。
- ⑥終生免疫を獲得できる。
- ⑦大量の人に一時に免疫を付与する事が出来る。
- ⑧世界を動かすことができるロータリーのスチュワードシップとリーダーシップ
- ⑨未来の予防医学モデルの可能性を見据えた予見。

ロータリーの英知と実践は、三千有余年も地球上にはびこった、子供の最も悲惨な病気を征服し、世界の子供への約束を果たそうとしています。ロータリーの存在を今世界は注視しています。

■■■■講師卓話■■■■

《未来を見据えて》人間市学校教育について

人間市教育長

西澤 泰男 様

私は豊岡小、豊岡中卒業で、7人兄弟の人間市生まれ、人間市育ちですので、此方にいらっしゃる方々には、家族ともどもお世話になっています。



最初の赴任地、川越で11年、上藤沢中9年、教育委員会3年、県の青少年教育に2年、西部中で教頭を2年、富士見市で校長を6年、そして人間に戻って校長を務めました。定年後、人間市教育委員会で新任の先生方の指導にあたっており、今年の4月より教育長に任命されました。それでは未来を見据えた教育について今日はお話しさせていただきます。

●質の高い教育で質の高い日本人を育てよう

(1) 未来の子ども達が住む社会がどうなっている

- ・子ども達の65%は大学卒業後、今無い職業に就くとニューヨーク市立大学教授は予測しています。(宇宙産業・ネット通販のドローン活用等)
- ・10~20年で47%の仕事がオートメーション化され、ロボットの活用や自動運転の車になるとオックスフォード大学准教授は予測しています。
- ・経済学者は2030年までに働く時間が週15時間程度となり仕事なくなる時代になってくる。
- ・日本の生産年齢人口は2010年8,173万人→2060年4,418万人(全人口8674万人の47%、65才以上の人口3500万人、40%)

(2) 未来の時代を考えた人間市の進めている教育

「子ども未来室事業」

一人一人の社会的自立を総合的に支援する事業

①小中一貫教育＝異校種間のなめらかな接続

・小一プロブレム

保育園、幼稚園に臨床心理士さんを派遣して一緒に手を組んで進め、低学年の児童には学級担任によるきめ細かな指導を行い、基本的な生活習慣や基礎的・基本的な学習内容を身につける。

・中一ギャップの解消

学力の向上と不登校の解消として小学校5,6年生に一部教科担任制、小中学校間の乗り入れ授業を実施し、より多くの教員に係る中で、思考力や物事を適切に判断する力を身につける。

②世界中で取り組んでいる誰にも優しい、便利なユニバーサルデザインの視点に立った教育

- ・全ての子どもにわかりやすい授業
- ・シンプル、楽しい、みんなで学ぶ、内面化と自立化
- ・教室掲示(教室の前面には掲示をしない)
- ・タブレット(金子小学校で40枚使用)
- ・イヤーマフ(発達障害の児童たちへ)

③狭山茶とふれあう教育の推進

- ・郷土入間を愛する心
- ・博物館との連携授業
- ・狭山茶に関わる体験
- ・茶席体験 ・校内茶会
- ・盆点前(中1で年間13時間実施)



(3) 「学校で教え」→「家庭で育て」→

「地域で守り伸ばす」

3つの教育力で健全な子どもの育成を!

学校、家庭、地域と教育委員会が一体となって、人間市の教育行政の基本理念である「豊かな人間性の育成」の実現に向けて努力してまいります。是非皆さん方のご協力を得て、人間市にとって良い教育を進めて参りたいと考えておりますので、これからも宜しくお願い致します。

子どもを悪くする親の10力条

(「思春期の子供を持つ親へ」県警察本部少年サポートセンタリーフレットより)

- 善悪の区別を曖昧にいませんか
- 子どものやる事を親が先にやっていませんか
- 子どもの気持ちを確かめなくて行動していませんか
- 叱ったりけなしたりすることが多くはありませんか
- 子どもからの指摘こいゝ加減な対応をしていませんか
- 親類や知人に子どもの躰を任せていませんか
- 子どもの学校生活から目を背けていませんか
- 子どもの好きな物を何でも買い与えていませんか
- 子どもに隠し事が多くはありませんか
- 子どもの要求に対して交換条件をつけることが多くはありませんか



発達障害児童へのイヤーマフ寄贈に
対して感謝状を頂きました。

★幹事報告

忽滑谷明幹事

- 12月1日 ホテルグランパシフィックにてロータリー財団地域セミナー (Zone1, 2, 3) が開催されますが、当クラブの細淵地区資金管理委員長が出席いたします。
- 12月のロータリーレート 1 \$ = ¥120

★委員長報告

広報委員会

友野政彦委員長

本日終了後、発達障害児童を支援のための教材を市に寄贈させて頂きました際の式典に粕谷会長、西山エレクト、滝沢社会奉仕委員長、加藤前会長、石川会員、新井会員と共に出席させて頂きます。又、これが広報に結び付けばと思っています。



イヤーマフを付けてみました。

<出席報告>

馬路宏樹委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
42名	27名	69.2%	72.5%

事前欠席連絡 6名

★国際ロータリー財団より表彰の印としてバナーと感謝のお言葉を頂きました。



<ニコニコBOX>

晝間和弘SAA

粕谷康彦君、加藤国夫君、岩崎茂君、繁田光君、晝間和弘君、木下登君～西澤教育長ようこそ入間ロータリークラブへ 教育関係のお話を本日は宜しくお願い致します。

本日¥7,000 累計¥388,000

■回覧、配布物

- ① RI2570 地区派遣学生 10 月次報告書
- ② 丸川珠代環境大臣より就任のご挨拶状
- ③ 入間市小中一貫教育研究発表会資料
- ④ 2820 地区からの鬼怒川水害見舞いお礼
- ⑤ 12/10 家族コンサート例会出欠表
- ⑥ 12/17 クリスマス家族例会出欠表
- ⑦ 本日の卓話資料
- ⑧ 他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑨ 入間RC週報 20号

RI2570 地区 11・12月の粕谷会長スケジュール 2015～2016年度

2015年11月			2015年12月		
日	曜	事業などの内容	日	曜	事業などの内容
3	火	入間航空祭			——未定——
6	金	入間市小中一貫教員研究発表会			
10	火	4クラブ合同懇親会			
13	金	入間市表彰審査委員会			
25	水	冬の交通事故防止運動の出陣式			
29	日	神山龍一君の相撲日本一を祝う会			

発行 入間ロータリークラブ

■事務所 〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイッ斎竹101号 TEL 04-2964-1700 FAX 04-2965-5788 Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
 ■例会場 丸広百貨店入間店6Fバンケットホール TEL 04-2963-1111 ■例会日 木曜日12:30～13:30
 ■編集委員: 岩崎茂 山岸義弘 吉永章子 豊田義継

